週刊NY生活
www.nyseikatsu.com
NY生活プレス社 NO. 352（週刊） 2011年6月11日土曜日
NEW YORK SEIKATSU PRESS, INC. ☎ (212) 213-6069
18 EAST 41st STREET, SUITE 1202, NEW YORK, NY 10017

ハーモニヤ・オペラ
日本の被災者支援公演

ハーモニヤ・オペラ・カンパニー（飯沼恵美子主宰）が東日本大震災被災者支援公演を6月3日夕、86丁目にあるパーク・ウエスト・プレスビテリアン教会で行った。日本、米国、韓国などのプロの歌手・演奏家たちから無料奉仕での出演の申し出が相次ぎ、当日はオペラ、ミュージカル、ポップス、ソウル、ダンス、能舞など3時間にわたる多彩なプログラムとなった。

公演の収益金はジャパン・ソサエティーの震災基金を通じて被災地に送られることから、開会の挨拶は櫻井本篤ジャパン・ソサエティー理事長が行った。櫻井理事長は「今後はメンタルケアおよび子供のケアなどを、日本のNGOと協力して長期にわたり支援をしていきたい」と語った。

新作ミュージカル「ザ・ディサピアリング・アクト」

カーテンコール（左から3人目が主宰した飯沼恵美子氏）

公演はシンガー・ソングライターのリック・シャーウィンで幕開け。リコーダーを2本同時に吹く演奏などで会場を盛り上げた。60年代にヒットした「レイジー・デー」などの作曲家で70年代以降はブロードウエーの作曲家で知られるジョージ・フイショッフが登場し、ミュージカル「さよなら」からのハイライト曲が披露された。

元劇団四季で先日ニューヨークに来たばかりの弐平千鶴が「シンク・オブ・ミー」を、日本人ソウル歌手のTOMOKOは日本へのトリビュートソング「プロミス」を歌った。ジョン・プレスチアーニ作曲、ブライアン・ヘンリー作による新作ミュージカル「ザ・ディサピアリング・アクト」の華やかなハイライトショーが披露され、ハーモニヤの田中千鶴による創作ダンス「リボーン」、濱田寿法による「能舞」なども行われた。

オペラでは、2011年ミス・ロサンゼルス・ベトナム美人コンテストで優勝した人気オペラ歌手のテレサ・マイ（ソプラノ）、ハーモニヤの橋本みゆき（同）らが美しい歌声を聞かせた。実力派のアメリカ人オペラ歌手ホープ・オズボーン（ドラマチック・ソプラノ）、韓国人オペラ歌手ジエーウーング・ヨー（バリトン）らには会場から「ブラボー」の声がかかった。トリはメトロポリタン・オペラで活躍したルシン・アマラ（ソプラノ）が締めた。